

幼児教育とのなめらかな接続

～ 学校独自のスタートカリキュラムを作成しましょう～

平成23年3月

東京都小学校生活科・総合的な学習教育研究会

1 小学校入門期の指導計画（スタートカリキュラム）の基本的な考え方

(1) スタートカリキュラムの実施時期

学校生活に適応できるようになるための時期と捉え、活動の場や人とのかかわり、学校生活の動きやきまりの習得を学級という身近なところから学校全体に広げていけるよう、段階的に実施する。

知る段階	入学後3週間 ～ 連休前	学校生活の基本的なきまりや流れを知る。 身近な教職員や友達との出会いを楽しむ 身近な施設・設備のある場所や使い方を知る。
広げる段階	連休明け～5月	学校全体のきまりや動きを知る。 新しい教職員や友達との出会いを楽しむ。 学校全体の施設・設備のある場所や使い方を知る。

(2) 学習活動

- ア 身近な活動や遊びを中心とした活動など幼稚園や保育所の学び方の特性を取り入れる。
- イ 一つの目標に向かって、また、必要性を感じて活動できるように生活科を中核に行事や他教科を合科・関連付けた総合的な学習活動にする。その際、15分をひとまとまりとして活動を組み合わせ、バリエーションをもたせる。
- ウ きまりやルール、施設の使い方などの適応指導は、とりたて指導ではなく自分の必要性を感じたり、自らが見付けたりするように、探険の形をとる。そして、それらの施設の管理者に使い方やきまりを聞き、実際に使う活動を取り入れる。
- エ 隣の席の友達、同じ誕生月の友達、家の近くの友達、2年生、6年生、主事、栄養教諭、栄養士など様々な人とかかわりがもてるような学習活動を取り入れる。
- オ 学級活動（2）の日常生活や学習への適応及び健康安全についての指導は、そのことだけを取り出して行うのではなく、児童の「勉強したい」という思いを大事にできるだけ教科学習に合科・関連付けた活動とする。

入学当初に生活科を中心とした合科的な指導を工夫して行うことについては、新学習指導要領解説「生活」の内容の取り扱いにも示されている。スタートカリキュラムを作成して合科・関連的な指導を行うことによって、不安を抱えた子供たちの意識の流れに沿った学習が展開され、子どもたちの学習への意欲や達成感が高められると考える。

次年度の計画作成時に、また、担任が決定した段階で、合科・関連を行う内容について学習指導要領の各教科等の内容を明確にして、入学当初の「生活科を中心とした合科・関連的なスタートカリキュラム」を学年で共通理解し、管理職と相談して進めていくようにする。なお、1単位時間の指導が強調されている特別活動や道徳については、合科・関連の意義や目標を管理職に話して時数のカウントを行うようにする。

2 入門期に身に付けさせたい内容と生活科を中核とした教科・領域の学習内容

生活科の内容

内容(1)

学校と生活

学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。

内容(4)

公共物や公共施設の利用

公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

内容(6)

自然や物を使った遊び

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

内容(8)

生活や出来事の交流

自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわる楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。

教科・領域の内容

国語・ひらがなが読める。自分の名前やひらがなが書ける。

- ・知らせたいことを選んで話す。興味をもって聞く。
- ・姿勢、口形などに注意してはっきり話す。
- ・姿勢や用具の持ち方が正しく、丁寧に書く。

算数・ものの個数を比べる。

- ・個数や順番を正しく数えたり表したりする。
- ・数の大小及び順序を考えることで数の系列をつくる。

音楽・拍の流れやフレーズを感じ取って身体表現する。

- ・歌詞の表す情景や気持ちを働かせて思いついたことを楽しく表す。

図工・体全体を使って造形遊びをする。

- ・表したいことを進んで見付け思いのままに表す。
- ・見ることに関心をもつ。楽しく見る。

体育・みんなでゲームを楽しむ。なかよく運動をする。

道徳・全ての内容

学級活動(2)

- ・基本的な生活習慣の形成
- ・望ましい人間関係の形成
- ・学校図書館の利用
- ・心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- ・学校給食と望ましい食習慣の形成など

集団のきまりや人とかかわり方

- ・チャイムが鳴ったら次の活動に移る。
- ・身長順、名簿順、帰る方向別などの並び方が分かる。
- ・話の聞き方、発言の仕方、着替え、帽子や道具の片付け方が分かる。
- ・学級の友達、上級生、主事や教師とかかわり方を知る。
- ・教室、時間割、校庭、朝会、集会、教科書など学校で使われている用語を知る。

施設・設備・道具の使い方やある場所の把握

- ・トイレ、水道、教室、校庭、靴箱、傘立て、椅子、ロッカー、フック、保健室、体育館の名称や使い方が分かる。
- これ以外の施設の使い方や場所の把握は、学校探検後、順を追って行う。

3 第1学年生活科指導案（他教科等との合科・関連スタートカリキュラム）

(1) 単元名 「大すき学校 友だちいっぱい」

(2) 単元の目標 上級生や学級の友達、先生や主事さんなどと触れ合ったり、様々な施設・設備を利用したりする中で、学校が自分にとって安心して過ごせる場所であることに気付き、これからの学校生活に意欲をもつことが出来るようにする。

(3) 評価規準

観 点	評価規準
生活への関心・意欲・態度	学校の施設や通学路などの様子を進んで知ろうとしたり、様々な人々と触れ合ったりしようとする。
活動や体験についての思考・表現	自分が発見したのや友達と遊んで楽しかったことなどを絵や文章などで表現することができる。
身近な環境や自分に付いての気付き	学校生活を支えてくれている人々がいることに気付くとともに、学校の施設・設備の使い方が分かる。

(4) 他教科等との合科・関連

教科等	他教科等の内容・単元・活動など	生活科の活動
国語	A 話すこと・聞くこと ア 身近な事や経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ探検 水飲み場探検 靴箱探検 保健室探検 校庭探検などで見つけた物を発表する。 ・探検先での挨拶や質問の仕方を考えたり実際に使ったりする。 ・探検先で聞いたことを学級の友達に伝える。
算数	A 数と計算 ア 物と物とを対応させることによって、ものの個数を比べること イ 個数や順番を正しく数えたり表したりすること C 図形 イ 前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を正しく用いて、ものの位置を言い表すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭探検をして見つけた動物や花などに関する歌を歌う。 ・友達と仲良くなるためのゲームでみんなの知っている歌を歌う。 ・自分が好きなものや自分のマーク、発見したものを絵で描く。
音楽	A 表現 イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭探検をして見つけた動物や花などに関する歌を歌う。 ・友達と仲良くなるためのゲームでみんなの知っている歌を歌う。 ・自分が好きなものや自分のマーク、発見したものを絵で描く。
図工	A 表現 ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと ウ 身近な材料や扱いやすい用具を動かして使うとともに、表し方を考えて表すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭探検をして見つけた動物や花などに関する歌を歌う。 ・友達と仲良くなるためのゲームでみんなの知っている歌を歌う。 ・自分が好きなものや自分のマーク、発見したものを絵で描く。
体育	A 体づくり運動 ア 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすること E ゲーム イ おに遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをする	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の友達や2年生とおにごっこや体を使った遊びなどをする。
道徳	1 主として自分自身に関すること (1)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがまをしないで、規則正しい生活をする。 2 主として他の人とのかかわりに関すること (1)気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接する。 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること (1)約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りや校庭の散歩や学校探検の中で会った人に挨拶をしたり使い方や説明を聞いたりする。 ・自己紹介ゲームをする。 ・校庭で遊ぶ。 ・トイレなどの探検をして、見つけたことを発表したり使ったりしてみる

(5) 週の指導計画例 4月第一週

* 生活科「大すき学校 友だちいっぱい」と合科・関連した授業は太字になっています。

日	6		7		8		9		10	
	入学式								1年生を迎える会 給食開始 安全指導	
1 校時	行	入学式	国 国 生	みんなとたのしく ・挨拶と返事 ・トイレと水飲み場 探険 ・トイレと水飲み場 の使い方	国 国 国	・書く姿勢と鉛 筆の持ち方・ 運筆練習 ・色塗り	国 国 国	・教科書のとび らを見て話し 合う。 ・運筆練習 ・色塗り	行 行 行	1年生を迎える 会 ・名前を言う ・ポニョの歌を 歌う
2 校時	学 生 国	・学校、学 級、担任 名確認 ・出席 返事 ・読み聞か せ ・隣の人と 握手	国 図 生	・自分の名前をカードに書く ・自分の好きなものをマークとして描く ・名前を言う	図 図 国	すきなものいっぱい ・自分の好きな物の絵を描く ・黒板に絵を張り見合う ・絵本読み聞かせ	国 音 生	みんなとたのしく ・名前を言う ・自己紹介ゲーム ・「さんぽ」の曲で挨拶、友達作り	国 国 算	はる ・教科書の絵を見て話し合う ・文字の練習 ・教科書の表紙を見て話を考える
3 校時			学 学 学	・帰りの支度 ・手紙の折り方の練習 ・地域ごとの色別並び	学 生 音	・1年生を迎える会で何をするか話し合う ・名前を言う ・ポニョの歌を歌って踊る	体 生 学	・体育館で遊ぶ ・体育館にあるもの発表 ・1年生を迎える会練習	生 国 学	・保健室検査 ・分からないものの使い方、質問 ・保健室の使い方、挨拶の仕方
4 校時									生 学 学	・栄養士に給食の話聞く ・ランチオンマットをもらう ・白衣を着てみる
国	5		音	2 / 3		道	0			
算	1 / 3		図	1		学	3			
生	2 2 / 3		体	1 / 3		行	2			

次ページに
指導案

(6) **4月9日 2校時**

本時の活動 (国語 1/3 音楽 1/3 生活 1/3)

目標 自分の名前を書いたカードを持ち、自己紹介ゲームをすることができる。

評価規準

国語 話す・聞く力

自分の名前を話したり、友達の名前を聞いたりすることができる。

音楽 関心・意欲・態度

曲に合わせて歌ったり、リズムに合わせて楽しく歩いたりしている。

生活 関心・意欲・態度

自己紹介ゲームに進んで参加して、友達のことを知ろうとする。

展開

	児童の活動	教師の支援	評価
0	<p>1 同じ班の友達に、自分の名前を書いたカードを見せながら自己紹介をする。</p> <p>「私の名前は、 です。」</p> <p>「 さんですね。私の名前は です。」</p> <p>「 さんですね。なかよくしてください。」</p>	<p>みんなとたのしく」の前時に作った名前のカードを利用するように伝える。</p> <p>相手を意識して、向かい合って話をすることを伝える。</p> <p>何人か前でやってみたり、隣同士でやってみたりしてから始める。</p> <p>(国) 相手を見ながら、自分や相手の名前を言ったり相手の話を聞いたりすることができる。</p>	
15	<p>2 『さんぼ』の歌を元気よく歌う。</p>	<p>大きく口を開け元気に歌っている子を、賞賛する。</p>	
30	<p>3 曲に合わせて、楽しく体を動かす。</p>	<p>教師がお手本になるように、楽しそうに大きく体を動かして歩いて見せる。</p> <p>(音) 曲に合わせて楽しそうに歌ったり歩いたりしている。</p>	
	<p>4 自己紹介ゲームをする。</p> <p>『さんぼ』の曲に合わせて自由に歩き、止まったところで近くの人と自己紹介をし合う。</p> <p>「私の名前は、 です。好きな果物は、さくらんぼです。」</p> <p>「 さんですね。私の名前は です。恐竜が好きです。よろしく。」</p>	<p>児童の様子を見守り、活動をスムーズに行っている児童を賞賛する。</p> <p>うまく言えない子には、近くに行き行って励ましの声をかけたり一緒に言ったりするなどの援助をする。</p> <p>(生) 友達の方を見ながら話したり、友達の話を楽しみながら聞いたりしようとしている。</p>	
45	<p>5 自己紹介ゲームの活動の感想を発表する。</p>	<p>それぞれが気付いたり感じたりしたことを聞く。</p> <p>見取った児童のがんばりやよかった点を伝える。</p>	

(7) 週の指導計画例 4月第2週

日	1 3		1 4		1 5		1 6		1 7	
	朝会 あいさつ週間始 避難訓練		保護者会		視力検査		たて割り集会 内科検診		あいさつ週間終	
1 校 時 行	道 生	あいさつ ・副読本を見て 挨拶を知る ・自己紹介ゲー ムをする ・避難訓練見学	国 国 国	はるのおたより ・3の場面に描 かれたもの発表 ・お話づくり ・文字の練習 へて	国 国 国	はるのおたより ・4の場面に描 かれたもの発表 ・お話づくり ・文字の練習 いこ	道 道 道	いつでもどこでも ・道徳の勉強に ついて知る ・絵を見て挨拶 を発表 ・役割演技	国 国 国	・口の体操 「あいうえお」 ・いろいろな読 み方をする ・文字の練習 とも
2 校 時	国 国 国	はるのおたより ・2の場面の絵 について発表 ・お話づくり ・文字の練習 しつ	図 生 生	・自分の顔をか く ・同じ誕生日の 人を知る ・紙に顔を貼り 月の絵をかく	生 生 生	家の近くの人と 友達になろう ・近くの友達を 知る ・グループになる ・遊ぶ約束をする	体 生 体	・体ほぐしの体 操 ・校庭に何があ るか探す ・固定施設を使 って遊ぶ	体 体 体	・固定施設を使 って遊ぶ ・集団行動、並 び方 ・体ほぐし、お にごっこ
3 校 時	生 国 学	・保健室探検 ・分からないも のの使い方、質 問 ・保健室の使い 方、挨拶の仕 方	体 体 生	・着替えの仕方 ・体育館で体ほ ぐし ・並びっこゲー ム	行 行 国	視力検査 ・教室の本を読 む	国 国 国	はるのおたより ・文を読む ・続き話をする ・文字の練習 うり	図 図 図	すてきな探検 バッグ作り ・使い方を話し 合う ・箱の形に線を 引く ・切り取る
4 校 時	算 算 生	もりにいこう ・絵を見ての話 ・数を数える 数だけ手拍子 ・集合ゲーム	算 算 国	もりにいこう ・何がいくつあ るか数える ・数だけをか く ・保護者会の名 札作り	算 算 生	10までの数 ・3の意味と読 み方 ・書き方 ・トイレの中の 3探し	算 算 算	10までの数 ・2と1の意味 ・かきかたと・ 読み方 ・2、1探し	図 図 図	・バッグに模様 を描く ・色を塗る ・のりで貼る
5 校 時					国 国 国	口の体操 「あいうえお」 ・絵本の読み聞 かせ	行 行 国	内科検診 ・教室にある本 を読む	生 学 学	2年生となか よくなるう ・遠足の計画を 立てる ・持ち物、約 束、メンバー
国	7 1 / 3		音	0		道	1 1 / 3			
算	3		図	2 1 / 3		学	1			
生	4		体	2 1 / 3		行	1 2 / 3			

次ページに指導案

(8) **4月15日 4校時**

本時の活動(算 2/3 生活 1/3)

目標 トイレを探検する中で、「3」の意味が分かる。

評価規準

算数 知識・理解

「3」の意味が分かり、読んだり書いたりすることができる。

生活 関心・意欲・態度

トイレ探検に進んで参加して、トイレの中の「3」を見付けようとする。

展開

	児童の活動	教師の支援 評価
0	1 トイレの探検をしながら、トイレの中の3を見付ける。 (1) 男子トイレに全員で入る。 (2) 女子トイレに全員で入る。	前回のトイレ探検を思い出すような、声かけをする。 児童の様子を見守り、活動をスムーズに行っている児童を賞賛して、他の児童がどのようにすれば良いかに気付くようにする。 (生)進んで「3」さがしをしている。
15	2 見付けたことを発表する。 ・ 女子のトイレは、和式のトイレが3つあったよ。 ・ 水道の蛇口が3つあったよ。	聞いている相手を意識して話すように声をかける。 話している友達の方を見るように声をかける。 うまく言えない子には、近くに行って励ましの声をかけたり援助をしたりする。 (生)進んで見付けたことを発表したり、友達の話を聞いたりしている。
	3 ブロックなどを使って、「3」を操作する。	手を使って操作しながら、「3」を具体的に理解するように、ブロックを用意しておく。 うまくできた児童はしっかりとほめる。 (算)ブロックを使って「3」を作ることができる。
45	4 「3」の読み方を知り、実際に書く。	大きく口を開け、声に出して読むように促す。 ノートに書き順に気を付けて書くように声をかける。 (算)正しい書き順で「3」をノートに書くことができる。

4 児童や保護者の実態とスタートカリキュラムを進める教師の思いや願い

【教師の思いや願い】

どの児童も、教師や友達の名前を覚えたり話をしたりするなど、周りの人に慣れ、楽しく学校に通ってきてほしい。先生が大好き、友達が大好きと言えるような人間関係を築いてほしい。また、地域の人や上級生にもあいさつをしたり楽しく話をしたりして、よいコミュニケーションがとれるようになってほしい。

学校のきまりや集団生活の過ごし方、施設・設備の使い方などを理解し、学校・学年・学級という手段の中で適切に動けるようになってほしい。また、学校の施設を維持、管理している人がいることを知り、その人たちが施設・設備をみんなが使いやすいようにしてくれていることやそれらが自分の役に立つということに気付き、大事に使えるようになってほしい。

一人一人の児童が安心して生活でき、学ぶ楽しさ、学ぶ喜びを感じてほしい。

【学習指導要領】

内容(1)

学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもち、安全な登下校ができるようにする。

【児童の実態】

様々な幼稚園や保育所などから小学校という場所に入り、新しく人間関係を作ることには不安を感じている。

建物の広さ、各施設の大きさなどに、今までの環境との違いが大きく、戸惑いを感じている。

学校生活がチャイムの合図で進んでいき、45分1コマという生活リズムに馴染めていない。

学習用具の準備や片付けなど、自分でしなければならないことが増えている。また、登下校の保護者の付き添いがなくなり児童だけの登下校となる事にも不安を感じている。

幼稚園出身の児童は、弁当から給食に代わり楽しみにしている反面、不安感をもっている児童が多い。

時間割をそろえることや家に持って帰るものと学校に置いておくものとの区別がつかなかったり、教科書という言葉さえ分からなかったりする児童もいた。

【家庭・地域の実態】

帰宅時間が分からず、不安に思っている。

小学校からの配布物が多く、目を通すのが大変。小学校では、当たり前前に使っている言葉の意味が理解できないこともある。

友達と仲良くやっていけるのか、また、新しい友達をつくれるのが心配。

両親とも仕事をしている場合は、放課後の過ごし方や家庭学習をさせるための時間の生み出し方などが大変。学童に行くため、疲れなにか心配。

不審者等が心配。

下校後の子どもの遊ばせ方をどのようにしてよいか分からない。